

事業所名：グループホーム野の花

作成日：令和7年4月23日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で、次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38 39	災害発生時等の体制整備が不十分であり、災害が発生した際に全職員が迅速に適切な対応をすることは難しい状態である。	いつ災害が発生しても職員が協同して適切に災害対応ができる体制を構築し、周知徹底することにより利用者・職員共に安心して過ごすことができる。	・防災マニュアル及びBCPの見直しおよび周知徹底。 ・十分な備蓄の確保及び備蓄品の適正な管理の実施。 ・防災訓練及び避難所開設訓練の実施。 ・職員間の迅速な連携のための訓練実施。	12ヶ月
2	26 27	個々のご利用者様の個性を活かしたケアプランになっていないものがある。	個々のご利用者様の個性を把握・共有し、ケアプランに活かし、ケアの実践につなげる。	・心身状況のみならず生活歴・趣味・嗜好を把握し、記録していく。 ・計画作成担当者が、各居室担当者や家族と情報共有を行い、プランに生かす。 ・各種委員会活動や研修を通して、職員の実践力向上に取り組む。	6ヶ月
3	34 35	けが・転倒・窒息・意識不明等の対応マニュアルは、ホームに即した内容までには至っておらず、緊急時における対応及び連携体制が十分ではない。	どの職員が勤務の時であっても、緊急事態が発生した際に、迅速且つ適切な対応・連携を実施することができる。	・緊急時対応マニュアルの見直し。 ・緊急時の対応についての研修会の開催(9月予定)。 ・職員アンケートの実施。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。